

ACPに関する市民啓発媒体のイメージ（案）

	市民全体向け啓発媒体 ～知ってみようver～		自分ごととして考える時期にある方向け啓発媒体 ～書いてみようver～	
	市民全体	自分ごととして考える時期にある方・家族等	市民全体	自分ごととして考える時期にある方・家族等
対象ごとの活用の意図	ACPの必要性や概念を知り、将来の自分や家族の最期に備えて、 <u>今から考え話し合っておくことの必要性を理解するために活用</u>	ACPの必要性を理解し、具体的な意思決定へと向かうために活用	将来の自分や家族の最期において、 <u>意思決定の具体的なイメージを知っておくために活用</u>	実際の自分や家族の最期に対する <u>具体的な意思決定ツールとして活用</u>
媒体の活用方法	講演会や医療介護相談窓口等で <u>広く配付（説明を添えずに配布する場合も含む）</u>	実際の意思決定時に、ACPの必要性から説明する際等に、 <u>医療介護関係者から説明のうえ活用</u>	講演会や出前講座等で <u>医療介護関係者から説明を添えて配付</u>	<u>医療介護関係者から説明を添えて活用することを基本とする。実際の意思決定時に、繰り返し書き込みも可能なツールとして活用</u>
ねらい	ACPの <u>必要性や概念について理解する</u> ⇒医療・ケアの主役はご本人。ご本人の希望に沿った医療・ケアとなるよう、 <u>ご本人の意思決定が重要</u> であること また、そのための <u>意思決定支援の取組があること</u>		ACPの <u>具体的な流れについて理解し、実際の意思決定に活用する</u> ⇒意思決定の具体的なイメージを知り、実際に意思決定をし、それを家族・医療会議関係者で共有していく	
啓発内容	<p>1 <u>日頃から考え、家族等と話し合っておくことの重要性</u>（意思決定の必要性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で意思表示できず、家族も困る事例 ・家族と話し合ったことのない人の割合 ・もしもの時には、7割の方が意思表示できないということ <p>2 <u>考え、話し合うことのメリット</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前もって考え、話し合っていたような良い事例 <p>3 <u>意思決定を支援するしくみがあること</u>（意思決定支援のしくみの存在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>人生会議の流れについて～ステップ①～⑤～</u> <ol style="list-style-type: none"> ①治療やケアに関する希望や思いについて考えてみる ②あなたの代わりに思いを伝えてくれる人を考えてみる ③かかりつけ医に相談してみる ④家族や医療介護関係者と話し合い、共有する ⑤考え、話し合ったことを書き留めておく <p>4 <u>今からできること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にいまからできることの提案 		<p>1 導入（本啓発媒体の目的や概要を伝える）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、概要について ・ACPの具体的な流れについて <p>2 記入する上での留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いま、全ての項目を記入する必要はないこと ・元気な方も練習として記入してみる ・「書きたくない」ということも、一つの意思であること ・定期的に見直し、新しい情報に更新しておくこと ・病気についてわからないことがあれば、かかりつけ医に質問してみる ・家族等や医療・ケアチームと共有することの重要性 <p>3 記入形式部分の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値観、大切にしたいこと ・信頼できる人はだれか（代理意思決定者）について ・人生の最期の療養場所について ・行われる可能性がある延命処置について <p>※いずれも、希望する内容だけでなく、その背景や理由も</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急隊の救命処置について ・文書には法的な拘束力はないこと 	